

## 植物の新育種技術に関するワークショップ:規制面からの考察および検討

### ワークショップの開催目的:

新育種技術(NBT)を使用した植物育種の進展状況と規制に関して米国、EC、オーストラリアおよび日本で情報を共有する。

### プログラム:

13:00-13:10 開会挨拶: 山口隆司、ILSI Japan 事務局長

### セッションI: NBTの進展 座長: 大澤良, 筑波大学生命環境系教授

13:10-13:50 NBT の概要と規制面での考察

Dr. Maria Lusser, Institute for Prospective Technological Studies, EC

13:50-14:30 植物育種における NBT の実用化に向けた利用例

Dr. Gary Rudgers, Dow AgroSciences

14:30-15:10 植物育種における植物 RNA ウィルスの利用

吉川信幸、岩手大学農学部教授

15:10-15:30 休憩

### セッションII: 規制面での考察検討 座長: 大澤良, 筑波大学生命環境系教授

15:30-16:10 オーストラリアにおける NBT を使用した植物の最新の状況と関連規制に関する考察

Prof. Andrew Bartholomaeus, School of Pharmacy, University of Canberra

キャンベラ大学薬学部教授

16:10-16:50 米国における規制枠組みと「新しい育種技術」

立川雅司、茨城大学農学部地域環境科学科教授

16:50-17:00 休憩

### セッションIII: パネル討論 座長: 鎌田博、筑波大学教授

17:00-18:00 全講演者および座長

18:00-18:10 閉会の挨拶: 森仁志 名古屋大学大学院生命農学研究科 教授、日本学術振興会産学

協力委員会第 178 委員会 副委員長

<司会進行: 末木 一夫 ILSI Japan>